

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸市公園緑化協会	
設立年月日	昭和43年4月20日	
団体の設立目的・沿革	<p>公益事業の担い手として、都市緑花、公園緑地及び動物園に関する事業を通して、市民や行政との協働の理念による潤いと彩りあふれる市民生活の実現を推進し、市民に憩いと安らぎの場を提供することにより、市民の健康増進、余暇活動の促進及び教育文化の向上に寄与することを目的としている。</p> <p>【沿革】 昭和38年7月1日任意団体神戸市公園協会発足。昭和43年財団法人認可により神戸市公園協会設立（昭和57年名称変更：財団法人神戸市公園緑化協会）。平成8年4月財団法人神戸王子動物園協会と統合。平成23年4月公益財団法人に移行。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	緑化啓発事業	建設局公園部管理課、自主事業
	一般公園等維持管理事業	建設局公園部管理課
	須磨離宮公園・森林植物園管理運営事業	建設局公園部管理課
	神戸総合運動公園管理運営事業	建設局公園部管理課
	国営明石海峡公園神戸地区運営管理事業	国土交通省近畿地方整備局
	動物園・公園等附帯事業	建設局王子動物園、公園部管理課、自主事業
代表者	理事長 岡田 健二	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	理事、評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		41	41
市派遣職員	1	1	-	-		25	27
市OB職員	1	1	-	-	6		8
その他	-	11	-	1	163	2	177
合計	2	13	-	1	169	68	253

財務状況(単位：百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	42	19	23
当期正味財産増減額	23	13	10
流動資産	735	582	153
流動負債	602	507	95
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	557	451	106

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	都市緑化・公園緑地にかかる専門組織としての強みを強化し、市政に貢献すること。
ミッション②	健全な財政基盤と民間企業と連携した効率的な管理運営で、市民に利益を還元すること。
ミッション③	必要な知識・経験をもつ人材育成としなやかな組織体制で、市の公園緑地行政を補完すること。

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	自立した組織体制の再構築
ミッション②	固有職員の人材育成と民間人材の登用
ミッション③	動物園事業の今後のあり方検討
ミッション④	指定管理施設の活性化と集客増対策
ミッション⑤	財政基盤強化のための目標設定とエビデンスの強化
ミッション⑥	民間事業者との連携強化

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.092	0.174	0.1ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	21.84%	23.35%	1.5ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	1.61%	3.16%	1.6ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	404.73%	285.59%	-119.1ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	114.85%	122.06%	7.2ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	51.85%	48.83%	-3.0ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	2.08%	3.54%	1.5ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	2.08%	3.54%	1.5ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
都市緑化・公園緑地にかかる専門組織としての強みを強化し、市政に貢献すること。	・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画検討 ・新たな都市緑化手法の研究 ・基金事業の充実			・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画検討 ・新たな都市緑化手法の研究、提案 ・基金事業の充実			・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画 ・新たな都市緑化手法の研究、提案 ・基金事業の充実			・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画 ・新たな都市緑化手法の研究、検証 ・基金事業の充実		
健全な財政基盤と民間企業と連携した効率的な管理運営で、市民に利益を還元すること。	・次期指定管理者の指定獲得（須磨離宮公園・森林植物園） ・民間事業者との連携強化（見直し・新規案件の検討） ・動物園収益事業の状況に応じた見直し			・次期受託業務の獲得（あいな里山公園） ・民間事業者との更なる連携強化 ・持続可能な財政基盤の強化策検討 ・動物園収益事業の状況に応じた見直し			・次期指定管理者の指定獲得（神戸総合運動公園） ・民間事業者との更なる連携強化 ・持続可能な財政基盤の強化 ・動物園収益事業の状況に応じた見直し			・民間事業者との更なる連携強化 ・持続可能な財政基盤の強化 ・動物園収益事業の状況に応じた見直し		
必要な知識・経験をもつ人材育成としなやかな組織体制で、市の公園緑地行政を補完すること。	・組織体制の見直し（緑化事業推進室の設置） ・人材育成の強化（経営職要件緩和等の充実）			・動物園事業の一部見直し ・専門職の配置検討（経験者採用・民間人材の活用）			・組織体制の柔軟な見直し ・職員がいきいきと働ける組織の構築（制度の見直し）			・組織体制の柔軟な見直し ・職員がいきいきと働ける組織の構築（制度の見直し）		
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
自立した組織体制の再構築	組織改正	改正事業の整理・見直しとそれに対応した組織の再編検討					令和5年度に向けた業務・組織・人員の検討					
固有職員の人材育成と民間人材の登用	適材適所による人材登用	資格取得支援制度の見直し			常務監査によるガバナンスの確立・各種研修の実施				技術職員の協会職員振替（▲1）			
	経営職の登用増加に向けた規程改正		計画的な職員採用			経営職登用試験の実施						
動物園事業の今後のあり方検討	キッチンカーによる入園者サービスの充実強化											
	動物科学資料館の展示等の見直し検討											
指定管理施設の活性化と集客増対策	各園の魅力アップに向けての取り組み強化（ばら・アジサイ・もみじ・ライトアップ）					予算要求・組織体制整備・共同事業者等との調整						
財政基盤強化のための目標設定とエビデンスの強化	令和3年度決算		決算及び今後の事業予定を踏まえた財政計画の策定				令和4年度決算見込み⇒予算要求⇒予算調製					
	財源確保（補助金等）及び戦略的な集客対策の検討（コンセプトの確立・方針決定）						電子決裁・新会計システムの導入に向けた取組（R4.4～稼働）					
民間事業者との連携強化	今年度事業調整（事業者との協議）		今年度事業の取組実践									
	新たなビジネスパートナー獲得に向けた検討											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標</p> <p>(できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>都市緑化・飾花・公園緑地に関わる多くの個人、企業、団体とのつながりをもつ唯一の専門的団体である強みを活かし、財政基盤の強化と効率的な公園緑地マネジメントと潤いと彩ある緑花・飾花を推進し、市民貢献及び魅力ある神戸のまちづくりに寄与する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①公益目的事業費率 : 70%以上</p> <p>②令和4年度以降収支均衡 : ±0</p> <p>③市職員(派遣・再任用)の段階的削減 : R04' = 1人</p> <p>④指定管理公園計画入園者数 : 目標数以上</p>
	○パークマネジメント事業に関するノウハウの強化・活用【市民貢献並びに市政への貢献】	
	○ボランティア・花緑専門団体・事業者とのコネクションの強化【市民貢献並びに市政への貢献】	
	①収益の公益事業(魅力ある園づくり等)への展開【市民への利益還元】	
	①緑花ボランティア等の育成・充実による効率的な緑花施策の実施【効率的な公益事業の展開】	
	②収益事業の環境変化(王子公園再整備等)を見据えた柔軟な中期収支(計画)の見直し【財政基盤の強化】	
	②新たな財源の検討(補助金や既存施設活用による新たな財源確保の検討・見直し)【財政基盤の強化】	
	②民間事業者との連携による効率的な運営と収益の確保【財政基盤の強化】	
	③経験者採用・アドバイザーの活用検討【民間人材の活用としなやかな組織体制の構築】	
	③昇任要件の緩和・資格取得支援・研修の充実【協会職員の育成】	
④指定管理公園のより質の高い管理運営(各園の魅力アップや広報の充実)と集客者数増		

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input checked="" type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input checked="" type="checkbox"/> 専門家紹介制度 (専門家)	プロレド・パートナーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（１）中長期的ミッションの達成状況

①都市緑化や市民参画の緑化施策を継承・発展するため、インターネットを更に活用した情報発信を主体とすることを目標とし、新たにSNS等による情報発信、相談業務、緑化に関わるボランティア団体等や市民への支援を行う取り組みを始めるとともに、市の新たな緑化施策に併せて、都心の花壇管理作業において「自然の景」などの新たな造園技術の展開を図った。

また、六甲山もりづくり基金事業として、間伐材を利用したコベルコ神戸スティーラースとのコラボレーションによるグッズ作成等による六甲山の森林保全に資する啓発等、都市緑化・公園緑地にかかる専門組織の強みを活かした市政への貢献を行った。

②離宮公園におけるクラウドファンディング（バラ園充実）の活用等、時勢の変化に対応した新たな財源確保の取り組みを行った。また、民間事業者との連携では、山陽電気鉄道（株）と離宮公園の次期指定管理（R5～）における事業共同体の結成・「神戸西須磨パークス1 dayチケット」の共同企画等、多様な民間事業者と連携し、公園の魅力を高め集客を図ることにより、交流人口の増加、神戸経済の活性化を通じ、市民への利益還元に努めた。

③公園緑地の管理運営や花壇管理、団体運営などのノウハウや技術を有する職員の育成とともに、昇格要件の見直しにより、能力を有する職員の経営職（係長級）登用を図るなど、職員のモチベーション向上により、神戸市の公園緑地行政を補完できる団体の組織体制の充実に努めた。

（２）短期的ミッションの達成状況

①「花と緑のまち推進センター」の廃止に伴い、協会として公園緑地課に緑花事業推進室（係クラス）を新設。緑化施策の推進体制を構築し、ホームページ・SNS等を活用して、市内の開花情報をはじめとした情報発信を行ったほか、緑化ボランティアの育成・団体の活動支援、リモートによる園芸相談等、関係者と連携しながら、緑化啓発事業を行った。

②協会の自立に向けて、段階的に市派遣職員から協会職員への転換を図っている。市派遣職員の引き上げに伴い、令和5年度に向け、新卒採用のほか、技術職員について、新たにキャリア（社会人経験者）採用を行った。また、経営職（係長級）登用要件の見直しを行った。さらに、資格取得補助制度を見直し、専門的資格取得に向け対象を拡大した。

【数値目標③】市派遣担当職員の協会職員への転換として、当初計画1名のところ2名削減した。

③王子公園再整備の進捗状況を見ながら、王子動物園における当協会の参画のあり方について、協会内で検討するとともに建設局とも協議を行った。

また、建物の耐震不足により閉鎖となったレストラン事業は、建設局とも連携し、キッチンカーによる飲食サービスの継続を図った。

④離宮公園では、ホームページのほかSNSを活用した発信や、養蜂事業として、リキュウハニー（蜂蜜、ハンドクリーム等）の販売促進を通じて、公園の魅力発信を行った。森林植物園では、市からの委託事業として森林環境譲与税を活用して、老朽化した森林展示館の展示等を改修し、学習、啓発機能のさらなる充実を図った。また、協会の自主事業として紅葉時のライトアップ、青葉トンネル内のLEDを利用した光の演出等、様々な取り組みを実施した。

来園者の利便性向上のため、繁忙期に渋滞が発生し、入園に時間を要している森林植物園駐車場出入口の改修について市に提案し、提案に沿った内容で、現在実現に向けた取り組みが市で検討されている。

新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、植栽管理の充実、イベントの開催等により集客増を図ったが、市の定めた新型コロナウイルス感染症前の目標入園者数には届かなかった。

【数値目標④】令和4年度の離宮公園及び森林植物園の入園者数：目標入園者数の数未達

・離宮公園	（目標入園者数）	282,000人	（実績）	252,899人
・森林植物園	（目標入園者数）	225,000人	（実績）	177,589人

⑤離宮公園ではバラ園再整備などさらなる集客増に向けた協会の取組実施に際し、新たな財源確保として、クラウドファンディングを実施し、市民をはじめ離宮公園の支援者から、目標金額（3,000千円）を上回る寄付（4,127千円）があった。

また、神戸総合運動公園ではアスリート応援パートナー事業としてユニバー記念競技場における広告収入事業により新規収入源確保に取り組むとともに、その財源を活用して、競技場にWi-Fiを設置する等施設の充実を図り、利用者の利便性向上に努めた。

これらの取り組みにより収支均衡を目指したが、王子動物園で2月に鳥インフルエンザに伴う2週間の休園等の影響があり若干の赤字決算となった。物価・光熱水費・人件費の高騰の影響も考慮し、将来に向けて協会が存続できるよう、次期中期経営計画策定に取り組む。

【数値目標②】収支均衡を目標としていたが、令和4年度は4,146千円の赤字となった。

⑥離宮公園において、山陽電気鉄道（株）や須磨海浜水族園等民間事業者との連携により、「神戸西須磨パークス1dayチケット」や「共通入園券」の販売を行い、須磨エリアの回遊性向上に向けた取り組みを進め、来園者増に努めた。

また、相楽園においては、（一社）神戸市造園協力会の共同事業者として、SNS等による広報強化を行い、幅広い世代への情報発信に努めた。

新たな分野におけるビジネスパートナー獲得としては、神戸総合運動公園のユニバー記念競技場においてアスリート応援パートナー事業を開始し、5社の支援を受け施設の充実等に努め、利用者への還元にも努めた。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

自主事業で得た収入は、緑化啓発事業（緑花相談、花壇管理、緑化リーダー等ボランティア人材育成等）において、市民の緑化意識の啓発や地域緑化の実現に寄与するとともに、指定管理公園事業における各園の特色の充実（離宮公園のバラの更新や森林植物園のアジサイなどの見本園の充実）を図り公園の魅力を向上させるとともに、更なる来園者の増加に向けた事業を展開した。

その他、神戸総合運動公園の競技場の施設充実に努め利用者の利便性向上を図るとともに、主に小学生を対象とした環境体験学習や動物に関する教育支援事業（動物教室）を開催し、意識啓発等にも取り組むなど教育の面でも寄与した。

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

中長期的ミッションの実現に向け、緑化施策を推進する組織体制の再構築、固有職員の人材育成、民間人材の登用などの取り組み、指定管理施設の活性化と集客増対策、民間事業者との連携などの短期ミッションの取り組みが計画的に進められている。今後、新たな事業の開拓、民間事業者との連携など、自律的財政基盤の確保、持続可能な安定した管理運営に向け、引き続き取り組むこと。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	都市緑化・公園緑地にかかる専門組織としての取り組み、安定的な財政基盤の確保策、組織体制の充実に向けた取り組みが進められている。
短期的ミッション	固有職員の人材育成、民間人材の登用に向けた取り組み、市派遣職員から固有職員への振替に関しては、達成できている。財政基盤強化のため、離宮公園でのクラウドファンディングやユニバー記念競技場での広告収入事業など新たな財源確保にも取り組んでいる。一方で、予期せぬ王子動物園での鳥インフルエンザによる休園等の影響により、目標とする収支については達成できていない。今後、物価高騰等の影響も考慮し、さらなる収入確保策を検討するとともに効率的な運営に努めること。
団体目標	公益目的事業費率、市職員の段階的削減は達成できているが、収支均衡および指定管理公園（離宮公園及び森林植物園）の入園者数が目標に未達であったため、さらなる集客増対策に努めること。
市への貢献・市民への還元状況	緑化啓発事業や各指定管理公園事業における魅力アップ、利用者の利便性向上に向けた公益事業を自主事業を財源に行われている。

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
 継続的な見直しを要する団体
 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体